

❖特集 “NASH/NAFLDの新知見”

〔巻頭言〕NASH/NAFLDの臨床の進歩と問題点

大阪府済生会吹田病院 岡上 武…499

成因・病態

NAFLD/NASHの疫学・予後 …… 東京女子医科大学 谷合 麻紀子…503

NASHと遺伝子多型 …… 山梨大学 前川 伸哉…510

Developmental origins of health and disease(DOHaD)仮説

とNASH/NAFLD …… 東京医科歯科大学 橋本 貢士…515

オートファジーによる脂肪蓄積制御 …… 大阪大学 坂根 貞嗣, 他…522

ヘパトカインセレノプロテインPによって惹起される

多面的な病態 …… 金沢大学 御簾 博文…528

NASH/NAFLDと鉄代謝 …… 旭川医科大学 長谷部拓夢, 他…531

NAFLDにおける腸内細菌叢と腸内代謝産物の役割

…… 横浜市立大学 結束 貴臣, 他…537

NASH動物モデル …… 名古屋大学 菅波 孝祥, 他…546

肝発癌と腸内細菌叢異常 …… 金沢大学 飯田 宗穂…552

ホルモン異常に基づくNAFLD/NASH発症 …… 高知大学 小野 正文, 他…557

脾抗癌剤治療によるNASHは存在するのか …… 高知大学 西原 利治…565

脾頭十二指腸切除術後の合併症としてのNASH/NAFLD

…… 山形大学 渡邊 利広, 他…569

NASH/NAFLDにおけるサルコペニアの関与

—診断評価法も含めて— …… 群馬大学 調 憲, 他…576

肝切除危険因子としてのNASH …… 東京大学 大道 清彦, 他…582

NASH/NAFLDの病理

NASH/NAFLDの病理診断の問題点 …… 金沢大学 原田 憲一…587

各病理診断基準の特徴と相互関係

—NAS, Matteoni分類, Brunt分類— …… 東京女子医科大学 小木曾 智美…595

Mallory-Denk体と細胞ストレス …… 産業医科大学 原田 大, 他…607

臨床検査

NAFLD診断における線維化スコアの比較 …… 武蔵野赤十字病院 玉城 信治, 他…613

M2BPGiによるNASH診断 …… 国立国際医療研究センター 是永 匡紹, 他…621

NAFLDにおける可溶性TNF receptor

とTNF- α 遺伝子多型 …… 東京女子医科大学 徳重 克年…626

チオレドキシン …… 愛知医科大学 角田 圭雄, 他…631

CK-18 fragment …… 東京慈恵会医科大学 松平 浩, 他…637

糖鎖バイオマーカーを利用したNASH診断の試み …… 大阪大学 三善 英知, 他…645

画像診断

NASHの超音波診断 …… 兵庫医科大学 小林奈津子, 他…654

Transient elastography …… 北海道大学 小川 浩司, 他…662

NAFLD/NASHにおけるMRIを用いた線維化・脂肪化診断

…… 山梨大学 前川 伸哉…668

MR laparoscopy …… 虎の門病院 川村 祐介…674

NASH重症度マーカーのゴールドスタンダードは …… 横浜市立大学 中島 淳, 他…682

予後・肝発癌

NAFLD/NASHと心血管リスク …… 国立国際医療研究センター 添田光太郎, 他…690

NAFLD/NASHとBCAA …… 岐阜大学 清水 雅仁…695

糖尿病と肝発癌—肝臓の視点から— …… 東京大学 建石 良介…701

NASH関連肝細胞癌の特徴 …… 東京女子医科大学 有泉 俊一, 他…706

腸肝軸を介する腸内細菌関連物質の肝癌促進作用

—癌微小環境における肝星細胞の細胞老化— …… 大阪市立大学 大谷 直子…713

グルコース・トランスポーターと肝癌 …… 奈良県立医科大学 鍛冶 孝祐, 他…719

治療

NAFLDに対する食事・運動療法 …… 佐賀大学 高橋 宏和, 他…727

外科的治療の現況—腹腔鏡下手術— …… 大分大学 太田 正之, 他…733

抗酸化療法のエビデンス …… 愛知医科大学 伊藤 清顕…738

EPA …… 秋田大学 佐藤 亘, 他…745

インスリン抵抗性改善化合物 …… 旭川医科大学 玉木 陽穂, 他…751

SGLT2阻害剤	東京医科歯科大学	小宮 力, 他	758
アンギオテンシン受容体拮抗薬によるNASH治療	愛知医科大学	中出 幸臣, 他	770
ミトコンドリア代謝を標的としたNAFLD治療			
ーミトコンドリア代謝異常とカルニチンー	広島大学	平松 憲, 他	779
NASH/NAFLDに対する薬剤開発治験状況	横浜市立大学	米田 正人, 他	790
ASK1阻害剤	愛生会山科病院	南 祐 仁	798
オベチコール酸(DSP-1747)によるNASH治療			
.....	京都府立医科大学	山口 寛二, 他	803
❖座談会 “NASH/NAFLD update”			811

(司会) 坂本直哉	小川佳宏	
(北海道大学)	(九州大学病態制御内科学/)	
(消化器内科)	(東京医科歯科大学分子細胞代謝学)	
吉治仁志	中島 淳	
(奈良県立医科大学)	(横浜市立大学)	(発言順)
(内科学第三講座)	(肝胆膵消化器病学)	

❖特別企画 私たちの「肝胆膵」編集委員会への思い	830
--------------------------------	-----

学術集会告知版	838	投稿規定	841
バックナンバーのご案内, 次号予告	839, 840	編集後記(坂本直哉)・広告掲載一覧	842

アークメディアは医療情報を発信する会社です

アークメディアでは「肝胆膵」をはじめとした医学情報誌や関連書籍、教科書を中心にあらゆるジャンルの出版物を制作しています。

▶学会・研究会のお手伝い

弊社では学会・研究会の事務局業務から、学術刊行物の編集制作、抄録集・記録集制作、学術集会の運営補助まで、経験豊富なスタッフが幅広くみなさまのお手伝いをさせていただきます。

▶書籍制作のお手伝い

業績集、追悼文集、自叙伝、報告書などなど記録に残したい、残さなければならぬ出版物の編集制作を承っております。

お見積などお気軽にご相談ください。詳しくは弊社までお問い合わせください。

CONTENTS

NASH/NAFLD update

Preface	Takeshi OKANOUE	499
Epidemiology of nonalcoholic fatty liver disease/nonalcoholic steatohepatitis	Makiko TANIAI	503
NASH and single nucleotide polymorphisms	Shinya MAEKAWA	510
Developmental origins of health and disease (DOHaD) hypothesis and NASH/NAFLD	Koshi HASHIMOTO	515
The regulation of lipid accumulation by autophagy	Sadatsugu SAKANE et al	522
Various forms of pathologies induced by hepatokine selenoprotein P	Hirofumi MISU	528
Alteration of iron metabolism in NASH/NAFLD	Takumu HASEBE et al	531
Role of gut microbiota and metabolome in NAFLD	Takaomi KESSOKU et al	537
Animal models of NASH	Takayoshi SUGANAMI et al	546
Liver carcinogenesis and dysbiosis of gut microbiota	Noriho IIDA	552
Development of NAFLD/NASH induced by dysfunction of hormones	Masafumi ONO et al	557
Do anti-tumor agents for pancreas cancer cause NASH?	Toshiji SAIBARA	565
NASH/NAFLD after pancreaticoduodenectomy	Toshihiro WATANABE et al	569
Clinical significance of sarcopenia in NASH/NAFLD patients	Ken SHIRABE et al	576
Nonalcoholic steatohepatitis as a risk factor in hepatic resection	Kiyohiko OMICHI et al	582
Pathology of NASH/NAFLD	Kenichi HARADA	587
Pathological features and the diagnosis criteria of NAFL/NASH	Tomomi KOGISO	595
Mallory-Denk bodies against various cellular stresses	Masaru HARADA et al	607
Comparison of non-invasive fibrosis maker in NAFLD	Nobuharu TAMAKI et al	613
Mac-2 binding protein glycosylation isomer (M2BPGi) for the marker of hepatic fibrosis	Masaaki KORENAGA et al	621
Soluble TNF receptors and TNF- α gene polymorphisms in NAFLD	Katsutoshi TOKUSHIGE	626
Thioredoxin in the diagnosis and treatment of NASH/NAFLD	Yoshio SUMIDA et al	631
CK-18 fragment	Hiroshi MATSUDAIRA et al	637
Application of glyco-biomarkers to a diagnosis of NASH	Eiji MIYOSHI et al	645